



建交労

2023年8月31日 No.1
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

2023年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

4年ぶりに第25回定期大会を通常開催 全組合員参加で要求闘争を推進しよう!

8月26日(土)～28日(月)の日程で、建交労第25回定期大会を群馬県ホテル磯部ガーデンホテルにて、4年ぶりに通常形式で開催しました。主催者あいさつで角田季代子中央執行委員長は冒頭に、「岸田政権が24日に福島原発事故による放射能汚染水の海洋投棄を強行したことに断固抗議し、直ちに中止を求める」と糾弾。続いて、「昨年末、岸田内閣は安保3文書を改訂し、憲法9条を持つ



開会あいさつをおこなう角田委員長

国でありながら『日本を戦争できる国』へと突き進めようとしている。重大な岐路に立っている」、「ジェンダー平等の課題では、国際指数でランキング125位の後進国として君臨しているにもかかわらず、物価高騰の下で女性労働者の多くが不安定雇用・低賃金



新年度運動方針に団結して頑張ろうと決意

で苦しんでおり、政府は抜本的な対策をとっていない。」、「建交労の組織を強くする課題では、原点回帰を呼びかけたい。仲間が集まり、みんなで相談し、行動することが大切。憲法を守り、仲間たちの生活改善に向けて、運動方針に団結し、1年間ともに奮闘しよう」と参加者へ呼びかけました。

初日は廣瀬書記長が2023年度運動方針等の提案し、1日目3人(特別報告)、2日目56人「計59人」が発言。(文書発言1人)

討論の特徴は「春闘など経済闘争の推進、組織拡大、職場争議、改憲阻止・大軍拡反対、反核平和活動の推進、原発なくせ」など、各県本部・支部、業種部会や女性部・青年部の仲間たちが元気に語りました。また長期期間のコロナ禍を経て、組合員の結集、学習・教育の強化など各職場、地域のとりくみを交流しました。最終日は、運動方針・財政方針案等を探択し、スト権を確立しました。また、「組織拡大、機関紙コンクール、フォトコンテスト」の表彰をおこないました。最後に角田委員長の発声で団結がんばろうを三唱し、大会を終えました。(※定期大会の詳細は建交労雑誌版10月号に掲載)